

事業テーマ

パーティクルボード加工対応のあらゆる超硬チップソーに対応できる再研磨サービスの確立

【対象類型】 革新的サービス

【革新的サービスとの関連性】

- ・付加価値の向上（ブランド力の強化、顧客満足度の向上）
- ・効率の向上（サービス提供プロセスの改善）

本事業への取組みの経緯・目的

当社は、製材木工機・集塵・搬送装置設置販売・超硬刃物の再研磨を主な業として昭和47年に創業しました。その後平成3年にダイヤモンドチップソー、ダイヤモンドカッターの再研磨工場を立ち上げ、平成7年からは産業機械工具等を取り扱う小売店舗を併設し、現在に至っております。

創業当初は材木工機等の販売が主力でありましたが、時代の変遷とともに、超硬刃物の再研磨業務のウエイトが高まり、とりわけて、パーティクルボードや窯業建材、アルミサッシの工場で使用される刃物再研磨の依頼が増加しております。

加えて、近年においては、合板の種類の飛躍的な増

加、床下難材をはじめとする難切新建材発売、それに伴って刃物の種類、特殊形状の刃物が増加傾向にあります。

ユーザーにおかれては、摩耗・刃こぼれに迅速に対応する必要があり、かつ新品交換によるコスト負担を軽減すべく再研磨要請はますます高まってきております。

当社は、数少ない研磨事業者の中にあって、刃物メーカーと同等の研磨機械を保有し、ユーザーのニーズに応えてきましたが、さらなる研磨技術と生産性の向上、納期短縮、コスト削減、製品の高精度化を実現し、新素材の刃物修理にも対応する体制、付加価値の高い新たなサービスを提供する事業展開を目指していきます。

実施内容

【申請時における課題】

- ①パーティクルボード用、アルミサッシ用の再研磨ラインでは対応できる種類に限界がありました。
- ②保有している機械を複数台数利用することで対応していましたが、今後出てくる超硬（タングステンカーバイト）刃物の形状等に対応していくには限界がありました。
- ③パーティクルボード用、アルミサッシ用の再研磨ラインについてはシステムが古く、研磨データ部を使用できるとどまり、今後ますます増加と思われる特殊刃物の形状にフレキシブルに対応することが難しかったです。
- ④上記①から③の理由において生産性向上が大きな課題でありました。
- ⑤ユーザーのニーズ、新素材への対応、緊急オーダーへの対応に限界がありました。

上記課題を解決するため

- ①フォルマー社（ドイツ）製「チップソー研磨機 CHP840」を導入しました。

- ②さらに自動化システムと自社ノウハウをプログラムできる設備（10DX）の導入、蓄積データの活用を図りました。

- ③テスト運転の結果、ほとんどすべての刃型に対して1工程研磨を実証できました。



事業実施の成果

- ① タングステンカーバイド材質のあらゆる形状の窯業系材料加工用刃物に対応することが可能になりました。
- ② 新世代の多様性4軸CNC制御によりほとんどのすべての刃型に対して1工程で研磨が可能になりました。
- ③ 多機能ハンドホイールにより操作が極めて容易になり、木材、アルミサッシ、プラスチック、各種金属のいずれにも対応可能となりました。
- ④ あらゆる刃物の再研磨に対応できるサービス体制が構築できました。
- ⑤ 関東支社中心の取引であったが、上記設備の導入により関東以外のエリア拡大の可能性が大きくなりました。
- ⑥ また、大手メーカーとの各種データ共有をすることで、広範囲かつ多様な顧客ニーズに応えられる体制を構築できました。
- ⑦ 本事業の遂行により、顧客満足の上昇、自社ブランド力の強化、協力会社との連携強化を図ることができました。

今後の展望

本事業の成果について、既存顧客への販売のほか、業界大手企業からも同社顧客の再研磨を受けてほしい旨商談が持ち込まれており、受注の増加が期待できます。

また、当社主力エリアである関東以外の地域、愛知県、山形県などの遠方からもオーダーが来ています。

パーティクルボードの現状と今後の用途拡大については拡大する方向との予想が示されており、関連刃物研磨需要は増加していく見込みです。

これらオーダーに迅速にかつ広範囲に応えられる体制として、ホームページからの受注システムを整えていきます。

社長・担当者から一言

社長 内藤 泰司

当社は創業以来、「安く、早く、正確に！」を大事にやっております。高度な設備を整え、あらゆる超硬刃物、PCDダイヤ刃物の再研磨に取り組んでおります。これからも、お客様のニーズにお応え出来るよう頑張ってお参ります。宜しくお願い致します。

担当者 内藤 大介

社長の「安く、早く、正確に！」をモットーに、本事業により導入したフォルマー社製「チップソー研磨機CHP840」と当社ノウハウを組み合わせて、正確で早い刃物再研磨を目指してお参ります。

企業データ

【主な事業・業種】 機械等修理業

【得意分野】 PCD ダイヤ刃物再研磨・超硬チップソー再研磨

所在地：[本社／事業実施場所]

〒289-1114 千葉県八街市東吉田125番地17

T E L：[本社／事業実施場所] 043-443-5261

F A X：[本社／事業実施場所] 043-443-5521

E-mail：naito-t@maruyasukikou.jp

設 立：平成3年2月5日

代表者：代表取締役 内藤 泰司

従業員数：7名

資本金：1,000万円